

蠟梅 Now

今年は日本へ接近した台風が平年を上回った所謂、当たり年。中には変わり種も。7月下旬に発生した12号は、三重県に上陸後、普段の台風とは逆のルートを通り、九州を南へ縦断し、**逆走台風**とよばれた。その後の一部期間は熱帯低気圧に格下げされたが、後に再び発達して、**復活台風**となった。

8月下旬に発生した21号は、25年ぶりの非常に強い勢力で徳島県に上陸、各地で観測史上1位となる暴風を記録した。高潮の発生も相俟って、関空では滑走路に浸水が発生。更に空港と本土を結ぶ連絡橋にタンカーが衝突する等、海上空港の脆弱性を露呈し孤立化しかかった。

9月には4個台風が発生し、下旬の24号は和歌山県に非常に強い勢力で上陸した後、猛烈な暴風雨を携えて、列島を行儀よく？北に縦断。交通機関の混乱、大規模な停電が発生し、農作物にも大きな影響を及ぼす塩害が各地で発生した。

台風の挙動と惹起した影響、被害を見ると、地球温暖化に纏わる因果、縁を疑わずにはおれないが、果て・・・！温暖化の元凶と見做されるCO₂削減に向けた人種や国境を超えた様々の取り組みを、着実に昇華させていかなければならないのだが・・・。

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、04年に法人を立ち上げた際に、運営の拠り所となるファンとして、多額のご寄付戴いた小山様所縁のもの。これまで年末年始の花の少ない時期に、可憐で馥郁とした香りを漂わせる開花が周囲の見る者を楽しませてくれたが、今シーズンは開花が遅れ、異例の3月に入ってからとなった。

11年11月誕生の実生による二世は、生誕の地西神から筆者宅に貰い受けて以降、経過は順調に見えたが、前の越冬後に新芽を出すことはなかった。待つこと暫し、期待に応じて復活することもなかった。

タイミングを診て、生誕の地に残る血を分けた兄弟の一株を貰い受けて、再出発することを考えている。



実生の遺影

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸

事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>